

オイスカ通信

NO.83

平成31年3月吉日



岐阜県支部

2月は逃げる、3月去るという事で年が開けてからの3ヶ月はあっという間に過ぎていくようです。

今月中旬から下旬には桜の開花予想も出ています。年毎に桜の開花が早まるというのは地球温暖化が急速に進んでいるということではないかと思いますが・・・・・・・・

*2月24日(日)可児市環境フェスタ「森のつみ木広場」開催



*タイ「大垣の森」視察報告 (四国センター池田氏より)

インパール作戦で大敗した日本の部隊が幾多の困難を乗り越え命からがら生き延びてこの地に到着。地元の人達の暖かい援助(貧しく、食糧不足の中でも自分たちの食べるものを日本兵に分け与えるなど)により無事日本に帰還できた、岐阜県大垣市出身の岡本部隊長の「何とかこの地の人達に恩返しをしたい。ここで助けてくれた人びとの為になるように」という呼びかけに多くの方達が賛同し、始まった森づくりの場所で、20年以上前に植えられたその森も大きくなりました。大きく成長した樹々のお陰で、山菜栽培や養蜂、養魚など実施し、周辺の田圃では田植え準備が進んでいました。このプロジェクトが良い事例となり今後は各

地に展開されていくことと思いますが当時、活動に参加された全ての方へ敬意を表しますと共に心より厚く御礼申し上げます。貯水池付近の緑陰での昼食も美味でした。久しぶり本当に感動しました。



*アルゼンチン「子供の森」報告(2019年2月中旬)

アルゼンチン拓殖協同組合(亞拓)の文野和義理事長(オイスカアルゼンチン)よりアルゼンチンの子供の森の写真がメールで届きましたのでご紹介させていただきます。



2012年6月に植栽された森

「子供の森計画」も、はや29年目になり世界36の国と地域で植林活動等行われております。オイスカ誌でもアジア地域の国は紹介されておりますがアルゼンチンは紹介されておられません。

しかし、実際はめざましい活動を行っていたのです。以下報告です。

アルゼンチンの「子供の森」は北部ミシオネス州にあり、ブラジルとパラグアイに国境を接している地域で、イグアスの滝から 150 km南下した場所にあります。(ブラジルサンパウロからイグアス経由でアルゼンチンの首都ヴェノスアイレスを繋ぐ高速道路の両側に位置)

ここには日系移住地があり、半世紀程前から植林が進められてきました。「亜拓の森」と呼ばれ規模は数百haといわれております。その一画 150 haを「子供の森」として、2012年6月に最初の植林が行われました。

これにはリオ 20(第 20 回国連環境開発会議)に出席されていた、中野良子総裁をはじめ、宮城県名取海岸再生の会会長鈴木英二氏や本部子供の森担当者などが参加し、現地の子供達 300 人と共に苗木を植栽しました。(植栽 6 年半でこの様に立派に成長しています。)

これも日頃、亜拓の方達が維持管理活動を行っている成果と思います。この森はアジア各国と違い(公財)オイスカ子供の森資金よりの助成金は一切受けておりません。(オイスカ・インターナショナルを通じて米州開発銀行、経団連自然保護基金等よりの助成で活動しております)

今後、益々活動が期待されております。



オイスカ子どもの森看板も設置



日本からお土産の文具で勉強するアルゼンチンの子供達

* 岐阜県支部活動報告会

6月29日(土) (於: OKB ふれあい会館)

講師: 廣瀬兼明氏 (西日本研修センター所長)

* ミャンマースタディーツアー参加者募集

8月19日(月)～8月24日(土)